

プロジェクトチーム

- ◆ 四国財務局では、若手職員が平成27年9月に「地方創生支援のための若手PT」（以下「若手PT」）を立ち上げ。若手職員16名で活動中。
- ◆ 地方公共団体からの要望に応えるべく、若手PTが企画立案から実行まで全てを行い、28年12月に「国縣市町連携 若手職員による地方創生フォーラム in Kagawa」を開催。香川県内の地方公共団体の若手職員が一堂に会し、白熱した議論を行うなど、連携を構築。
- ◆ 当該フォーラムを起点とし、県・市職員との間で観光振興に向けた新たな企画が生まれるなど地域連携・地方創生支援につながっている。

1. 成果事例の概要等

○ 地方公共団体の若手職員とのプラットフォームを構築

平成28年12月15日、香川県内の地方公共団体の若手職員が一堂に会する「国縣市町連携 若手職員による地方創生フォーラム in Kagawa」を開催（参加者60名）。



同フォーラムは、当局若手PT（地方創生支援のための若手PT）が訪問した地方公共団体の若手職員から、「他の地方公共団体と横のつながりができないか」、「地方創生について本音で語り合いたい機会がない」といった声を聞いたことから、それらを実現できる場を創りたいとの思いで企画したもの。

○ フォーラムの企画立案から実行まで全てを若手PTが実施

フォーラムの開催にあたっては、参加者の満足度向上を徹底的に追求。

プログラムの構成の検討、講師の選定及び講演依頼、参加者募集、報道機関への情報提供、フォーラム当日の運営など、フォーラムの企画・立案から実行まで全てを若手PTが実施。



フォーラムの開催に向けて熱心に議論を重ねる若手PTメンバー

若手PTが思い描く「理想的なフォーラム」を自分たちの手で開催

2. これまでの取組の成果等

○ 参加者の満足度向上を追求したプログラムを構成

フォーラム開催にあたっては、まず、当局の若手PTがフォーラム開催の趣旨と目的を説明。続く、基調講演では、中央省庁から香川県に出向している者に地方創生の重要性を説明していただくと



ともに、招待講演では、既存の枠にとらわれない公務員の活動を知り、地方創生を「自分ごと」にすることの重要性を学べる構成にした。また、出席者が「若者の移住定住の促進」をテーマにワークショップを実施。出席者が参加できる意見交換の場を提供した。

○ フォーラムで新たなつながりができ、更に新たな地域活性化のための企画も

当局の職員や地方公共団体等の職員間でSNSを通して「つながり」ができ、新たなネットワークが構築

フォーラムを起点とし、県・市職員との間で観光振興に向けた新たな企画が生まれたほか、当局が地方公共団体からの依頼を受け、地域活性化策の提案をする場も

3. 今後の課題と四国財務局等の対応

＜今後の課題＞

- 真の連携はこれから。フォーラムで生まれた「つながり」を大切に持続的な関係性を築き、地方創生につなげていくことが重要。

＜四国財務局及び管内財務事務所の今後の対応＞

- フォーラムを起点として生まれた企画がより地域活性化に寄与するものとなるよう若手PTが支援できれば。一過性にせず、互恵を目指した取組を行っていく。

